

シリーズ多面的機能支払 熊野・御浜・紀宝 ～私たちの思い、そして伝える100年先へ～

たの の たど
Vol.17(最終回) 多面的田野々田戸組合(熊野市育成地区)の軌跡

多面的機能支払
熊野・御浜・紀宝

—美しい里山を守り、次の世代へとつないでいく—
多面的機能支払交付金を活用し、故郷の暮らしを守る活動組織の多様な取り組みは、100年先の地域での暮らしへとつなげるための足跡となっている。本誌では、活動組織の地域に対する思い、今後の展望についてインタビューするシリーズ企画。今回は、今年度から取り組みを始めた「多面的田野々田戸組合」を紹介する。

熊野市内から、七色ダムへと続く、国道34号線を通り、三重県から和歌山県北山村へ。ここは、「じゃばら」の産地として有名な地域だ。北山川沿いの壮大な岸壁と山々に圧倒される。しばらくすると、三重県と和歌山県の県境の看板とともに、県道52号線へと分かれる新大沼橋を渡り、再び三重県へ入る。今度は、尾川川に沿って進むと、熊野市育成地区が見えてきた。この日は、雪もちらつくほどの寒さで、吐く息も白くなった。多面的田野々田戸組合代表の南さんと会計の辻本さんが、「遠いところ道に迷わず来れたか」という笑顔と声掛けに、心が温かくなった。

—取組を始めて1年となりますが、いかがですか。

南—地域での草刈りや用水路の掃除などの共同作業は、この一年で始まった取組ではなく、ずっと以前から当たり前のよう

に地域で取り組んできたことな

—地域の農業について教えてください。

南—最近では、若い人で地域外から農業をしに来ている人もいます。まだ、多面的取組などには参加していませんが、今後は一緒にできればと思っています。地区の田んぼは、圃場整備が実施されているので、耕作条件は良いと思います。地域外の方で農業をしたいという方は、まずは体験でもいいので来てもらえればと思っています。

辻本—栽培品種は、コシヒカリが中心です。品種が同じなので、水が必要

な時期も合わせることで、共

—組織について教えてください。

辻本—構成員は、地元の農業者7名と非農業者1名です。平均年齢は73歳くらいになります。高齢になっているからこそ、皆で力を合わせて取り組んでいます。主な作業は、草刈りです。休耕田の維持管理もしています。獣害柵や水路の管理も大切ですね。

—休耕田の管理は具体的にどのような作業ですか。

辻本—休耕田には、レンゲをまいています。レンゲは、背丈が低く地面に沿って広がるので、他の雑草が育つのを抑える効果もあります。4月には、休耕田に、一面にピンク色の絨毯が広がっ

—今年の夏は暑かったですが、水管理は問題ありませんでしたか。

南—水源は、川からポンプで水路にあげています。夏場では、一週間も雨がふらなければ水が足りない状況です。これは、山が荒廃し保水力がなくなっていることに原因があるのではないかと考えています。

辻本—私は地区の用水の管理者をしています。昔の方が、川の水が多かったように感じています。今年は、特に雨が少なかったもので、水位低下によりポンプで水をあげるのも一苦労でした。皆が十分に水を使えるようにしないと下手したら喧嘩が始まってしまいます。

—今後の目標について教えてください。

辻本—自分が元気なうちは、荒らさずに耕作を続けたいと思っています。後に続く者たちの育成にも力をいれていきたいです。

南—若い人達は、農業体験なども積極的に言い、地域の魅力発信をしているので、協力できることは共に取り組んでいきたいです。

日常が生み出す農村風景が伝える 田野々での豊かな実りある暮らし



代表
南 教 さん

会計
辻本 浩規 さん



【田野々地区の綺麗に維持管理された圃場】

■取材を終えて

お二人との和やかな会話のなかから、この地で農業を営み暮らす人々の日常が当たり前に存在することが、この美しい農村風景を形成しているのだということを改めて感じる事ができた。この日常がこの先も、この地で続く限り、農村風景は守られるのだ。そして、地域外から心の豊かさを求めて訪れる地であり続けるのだろうか。

この連載企画は、今回で最終回となる。これまで、たくさんの人々と出会い、お話を伺いすることができた。皆さんが守ってきた農村風景を見るたびに、いつも心が穏やかになった。

いつも私たちのそばにある農村風景や人々の地域に対する思いが、100年先へとつながることを願う。

熊野地域の人々によって守られてきた農村は、とてもきれいで美しい。そしてその景色に出会えた私たちは幸せだと心から思う。この連載企画は熊野地域の多面的機能支払活動組織の皆様にご協力いただきました。心より感謝いたします。



【インタビューの様子】



【維持活動の様子】

組織名	組織 設立年	活動面積	活動メニュー
多面的田野々田戸組合	令和6年	369a(田)	農地維持支払 資源向上支払(共同)

取材：三重県熊野農林事務所 山口、西崎 熊野市役所 橋本
御浜町役場 大谷（令和7年1月）
問い合わせ先：熊野農林事務所 農村基盤室 農村計画課(0597-89-6128)

